

第4回 恵那市地域福祉計画・恵那市地域福祉活動計画策定委員会 会議録

日時:令和5年3月 24 日(金) 午後1時 30 分～2時 30 分

場所:恵那市消防防災センター一会議室

出席委員:坪井委員(委員長) 小林委員 井戸委員 山田委員 西部委員 矢頭委員 伊佐地委員
長谷川委員 立尾委員(後藤氏による代理出席) 西尾委員 古山委員

欠席委員:遠山委員 加藤委員 三宅委員 小木曾委員 石原委員 水野委員 岩井委員 野戸委員
板津委員

事務局: 恵那市社会福祉課 課長 沼田
恵那市社会福祉課 課長補佐 酒井
恵那市社会福祉課 課長補佐 荒川
恵那市社会福祉協議会 次長兼地域福祉課長 加藤
恵那市社会福祉協議会 地域福祉課主査 田口
(株)ジャパンインターナショナル総合研究所 鈴木
(株)ジャパンインターナショナル総合研究所 熊谷

内容: 開会

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 議事
 - (1)第4次恵那市地域福祉計画・地域福祉活動計画案について
 - (2)第4次恵那市地域福祉計画・地域福祉活動計画の進行管理について
- 4 その他
- 5 閉会

1 開会

事務局 (課長)	<p>ただいまより「第4回恵那市地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員会」を開会する。私は恵那市社会福祉課課長の沼田である。お忙しい中ご参加賜り感謝申し上げます。</p> <p>2月にパブリックコメントを実施した。前回のご意見とともにその結果を踏まえ、本日は計画の最終確認となる。</p> <p>1点トピックということでお話しさせていただく。前回は自殺対策計画を中心にご意見を頂戴したが、新聞に 2022 年の自殺者数の速報値が載っており、小中高生で過去最多の 512 人、確定値は 514 人ということで、前年より 39 人増となった。過去のデータを見ると 300 人台で推移していたが、ここ数年で一気に 500 人を超えた。子どもと言われる世代の自殺が本当に危惧され、あらためて今回の計画策定が重要だと感じている。策定という意味では最終の会議となるが、忌たんのないご意見を頂戴しながら効果的な計画となるよう努めてまいりたいと思うので、よろしく願います。</p> <p>早速会議に入る。まずは坪井委員長よりごあいさつを頂戴したいと思う。</p>
-------------	---

2 委員長あいさつ

委員長	<p>年度末のお忙しい中にもかかわらずご出席いただき感謝申し上げます。</p> <p>最近はコロナに関する情報が少なくなってきたので、このまま収束すればよいと思っている。先日、恵那西中学校の卒業式に参列したのだが、今年の卒業生は3年間ずっとマスクを着けたままの学校生活であった。本当に可哀想だと思っていたが、卒業式では3年生全員マスクを外しており、みんなの顔がすっきりと爽やかに見えた。一日も早く子どもたちがマスクなしの生活に戻れるように願っている。</p> <p>今日は第4回の策定委員会で最終となる。皆様から活発なご意見をいただきたいと思っているので、よろしく願います。</p>
-----	---

3 議事

(1) 第4次恵那市地域福祉計画・地域福祉活動計画案について

委員長	では議事に入る。「(1) 第4次恵那市地域福祉計画・地域福祉活動計画案について」事務局より説明をお願いします。
事務局	<p>資料に基づき説明。</p> <p>(1) 第4次恵那市地域福祉計画・地域福祉活動計画案について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメントの結果報告 ・恵那市地域福祉計画及び概要版について ・恵那市地域福祉活動計画及び概要版について
委員長	修正点を含めご意見等いただければと思う。皆さんから一言ずつ願います。
委員	初めての出席なのでよく分からない。
委員	計画として出来て、進んでいけばよいと思う。地域のつながりについてもこの計画を通じて強化できればよい。
委員	計画としてはよいと思うが、小中学校の先生方との共有をどう図っていくのか。
事務局	4月から教育・発達支援センターが恵那市教育委員会の中に組織として新たに立ち上がるということもあるので、計画を学校の先生方と共有できる機会を設けていきたいと思っている。
委員	恵那商工会議所の後藤である。本日は立尾の代理で出席させていただいている。計画については特に言うことはないが、我々は経済団体として企業と関わる機会が多いのでその視点で話をする。企業が繁栄することによって従業員の生活が安定するため、それに注力したい。また、従業員に対するケアも必要なので保健師等をお願いしながら支援を行っていきたいと思っている。
委員	社会福祉協議会の常務理事を務めている。今回の計画には社会福祉協議会の地域福祉活動計画も入っているということで、私以外にも2人の社協関係者が入って計画策定に携わった。いよいよ完成ということで大変うれしく思っている。社協は福祉の実行者の立場になると思うが、行政と力を合わせて計画の推進に努めようと気持ちを新たにしているところだ。計画は実行してこそのものであるため、住民や地域活動団体、事業所の皆様とともに実行してまいりたいと思っている。
委員	一般社団法人セカンドベース東濃の井戸である。民間の団体として恵那市の福祉に携

	<p>わっている。計画がしっかり出来たということで、我々としてもこれを見ながら活動していきたいと思っている。これからいろいろな課題も出てくるだろうが、その都度会議等で対応していけばよいと考える。</p>
委員	<p>壮健クラブの代表を務めている。会員が 6,000 人で 101 のグループに分け、活動としては年間 186 回の小学校付近の交通整理やマレットゴルフ等での健康づくりをしている。101 ある各活動を報告し合って進めているわけだが、福祉計画もこれに沿った形で推進してくればこれからの壮健クラブの活動と福祉充実のための大きな指針になると思う。</p>
委員	<p>社会福祉協議会から来ている。33 ページに恵那市の地域福祉の評価・検証についてのポートフォリオがあるが、その中で満足度も重要度も低いところにボランティア関連の項目が集まっていることに驚いた。災害時等にボランティア活動は重要なものなのに、なぜ評価が低いのか。こういう活動に対する認識をあらためる必要があるのではないかと思った。</p>
委員	<p>前回お話ししたことを取り入れていただき感謝申し上げます。先ほど教育・発達支援センターの話が出たが、それによって現存する(教育・発達相談センター)「あおば」がどう変わるのか、校長会でも話題になっている。困っている子どもと親御さんに対しては医療や発達検査等いろいろな側面から見ていく必要があり、これをいかにつなぐかが大事であるが、どこがつなぐのか。「あおば」がこれを全部つなぐのかも含め明確にしてもらえると学校現場としては助かる。</p>
事務局	<p>委員の皆様からいろいろなご意見を頂戴し、計画が出来上がったことについてもご評価を受けた。次の議題でもあるが、計画策定後は進行管理が重要で目標の達成状況等をしっかり「見える化」しながら進めていかなければならないと思っている。</p> <p>壮健クラブの活動であるが、年間 186 回もの小学校付近の交通整理ということで大変有り難い。今後も地域福祉活動の一環としてご協力をお願いする。</p> <p>西部委員からはポートフォリオのお話があった。これは令和3年 12 月実施のアンケート結果から満足度と重要度ということでポイント分けしたもので、高い項目としては医療や移手段、そして低い項目としてボランティアに関する項目が3つも集まっている。地域に出向いて活動団体からご意見を伺うと、担い手不足、有償ボランティア、支援してほしい人と支援したい人のマッチングということをよく聞く。そこをうまく解決できるような手立てを地域の皆様と一緒にあって見つけていきたい。アンケート結果の位置づけとしてはこのようになっているが、地域共生社会を存続していくためにボランティア活動というのは大変重要なものであると認識している。</p> <p>西尾委員からは「あおば」のお話を頂戴したが、先日の3月議会でも質問が出た。教育委員会の答弁としては教育部門だけが関わって解決できることではないため重層的支援体制が重要というものであったと認識している。重層的支援体制というのは地域福祉計画のテーマでもあるので、どこが先頭に立つかということも含め今後しっかり対応していかなければならないと思っている。</p>
委員長	<p>地区計画について。ほとんどの地区で移手段の確保が課題となっている。バスの運賃が片道 200 円になり、それはよいことだが、自宅からバス停まで自力で行けない人はどうするのか。バス代だけ下がっても根本的な解決にはならないと思う。三郷では「みさと愛の会」を結成し自費で車による移動支援を行っているが、市内一円で徐々にでもそういう取り組みが広がっていくことを望む。「みさと愛の会」の結成は 13 年ぐらい前にな</p>

	るが、その当時はボランティアが当たり前だった。今は有償ボランティアでなければできないと言う人が多いが、不便さを感じている方に寄り添った福祉ができればと思う。
事務局	移動支援の話も含め、福祉という考え方がもっと身近になればよいのご指摘だったと思う。実は4月から明智と上矢作で新たにデマンド交通バスを運行する。同じく4月から明智でもまちなか巡回バスが通ることになった。また、令和5年度も引き続き75歳以上の方を対象に100円×100枚の公共交通利用券を配布する。移動の糧になるとともにフレイル予防もできればと考えている。私自身地域懇談会に参加させていただいたが、少子高齢化による担い手の減少でこれから先に不安を感じておられる方が多いと思った。だが、それぞれの地域でいろいろなアイデアが出ており、中野方にお住まいの方が65歳になったら同級生全員でボランティア入学式をしよう、そして70歳になったら卒業式をしようと言われていて面白いと感じた。そういうアイデアを実現できるよう、市としても社協としても応援するし仕掛けてまいりたい。
委員長	他に何かあるか。
委員	自殺対策について。障がい者や高齢者、子どもへの自殺対策はあるが、ブラック企業勤めで仕事に疲れて限界に来ている人たちに対する相談体制が整っているかどうか気になっている。そういう追い詰められている大人を救うことも考えていく必要があると思う。
事務局	117 ページに主な相談先一覧ということで、一番上には社会福祉課の「福祉総合相談窓口」の連絡先を載せており、ここでは仕事・人間関係の悩みやひきこもりの相談も引き受けている。ただ、この相談窓口自体の認知度が4割程度と低いことがアンケート結果から分かったので周知に努めたい。今後の進行管理の中で今のお話をどんどんプラスに変えていきたいと思う。
委員長	117 ページの相談先は内容別に分かれているが、「なんでも相談」というかたちで総合窓口を設置しておけばとつきやすく市民に分かりやすいと思う。この体制を進めていくうちにいろいろな意見が出てくると思うので、よろしく願います。
事務局	総合相談窓口の担当課は私どもなのだが、最近の相談内容としては精神的な悩みが多い。また、DV被害を受けた女性からの相談は子育て支援課で対応するのだが、総合相談窓口に加害男性からの相談という、かなり気を遣う案件が来ることもある。女性を保護する必要もある一方、男性からの相談についても門前払いはできないので丁寧、慎重に対応しているところだ。このようにその都度の判断が必要となるようなこともあるが、しっかり受け止めていきたいと思っている。
委員長	他にはよろしいか。では、恵那市地域福祉計画・地域福祉活動計画案についてご承認いただけるか。
委員一同	《承認》

(2) 第4次恵那市地域福祉計画・地域福祉活動計画の進行管理について

委員長	「(2) 第4次恵那市地域福祉計画・地域福祉活動計画の進行管理について」事務局より説明をお願いします。
事務局	資料に基づき説明。 (2) 第4次恵那市地域福祉計画・地域福祉活動計画骨子の進行管理について
委員長	令和5年度になってから推進委員会を設置されるようなので、指名を受けた方はよろしく

	お願いする。
--	--------

4 その他

委員長	「その他」として事務局から何かあるか。
事務局	特にない。
委員長	それでは進行を事務局に返す。

5 閉会

事務局 (課長)	これまで策定委員会を4回開催して 13 地域で地域福祉懇談会を実施し、さらにはその振り返り会議も行いながら今回の計画をまとめた。この計画が絵に描いた餅にならないよう進行管理を考え、地域自治区ケア推進会議と重複しているとされる地域福祉懇談会について整理する。また、地区計画の進行管理も検討したいと思っている。 以上で「第4回恵那市地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員会」を閉会する。
-------------	--